

お互いに助けあうことができる仲間を増やしていけたらと思いました。



**平成28年 新成人と還暦を祝うつどい  
が開催されました**

**法人事務局 主任 辻 純三子**

1月17日(日)にKKRホテル大阪で平成28年新成人と還暦を祝うつどいを開催しました。この行事は、従来、大阪手をつなぐ育成会、大阪市手をつなぐ育成会、大阪育成会の本人の会である「大阪ともだちの会」の3者による合同開催でしたが、今回からは、これらに加え、大阪市育成会の本人支部である「きずな会」も参加していただき4者による合同開催となりました。

さて、例年のこの時期は雪が散らついたりすることが多く、新成人の方の晴れ着には少し酷なところもあるのですが、今年の気候は例年になく暖かで、当日もそのような心配が必要ない申し分のない天候でした。今年の新成人と還暦を祝うつどいには、新成人が20名、還暦が5名の方がご参加され、大阪市育成会からは、このうち新成人が3名、還暦が1名の方となり少々人数的に淋しい状況でしたが、参加された皆さんはスーツに身を固めて立派な出で立ちでした。

会の方は、主催者の挨拶に続き、当日ご参加されていた方々のご紹介があり、その後には来賓の方々からは新成人の皆さんと還暦の皆さんにお祝いの言葉がありました。

この次は、今年から「大阪ともだちの会」と「きずな会」の合同企画で第二部となりました。

乾杯と挨拶の後、「大阪ともだちの会」と「きずな会」のメンバーがマイクを持ち、フロアーを回って皆さんから目標や日頃の様子をお聞きしました。インタビューをして頂いた「きずな会」の皆さんも周知な準備をしていたのか、初めてとは思えないような慣れた様子で務めていただきました。

また、アトラクションでは「大阪ともだちの会」の皆さんと「きずな会」の皆さんで“本物は誰でしょう”

クイズで発題者となり、一緒に練習していたの?と思わせる程の息の合った出来栄でした。

今回「きずな会」の皆さんも初めての参加となりましたが、新成人の方々と同様に活躍の場を広げていただきたいと思います。



**平成27年度職員研修会を開催しました**

**港第二育成園 主任 佐久間 直人**

2月5日(金)に東成区民センターで平成27年度の職員研修会を開催しました。

今回は、法人内に設置している研修企画委員会で企画検討をして開催することとなりました。半年間かけて研修の内容や講師選定を行ってきた結果、ご依頼した講師は、大阪市育成会大会にお越し頂いておりました桂福点氏です。大阪市育成会大会でのご講演は、会員の皆さまより楽しくて解かりやすかったと好評でしたが、大会当日、法人内事業所の職員は利用者対応もあり、講演をお聞きすることが出来なかったのが、改めて職員研修でのご講演をお願いした次第です。

研修の前半は「障害者理解のための4つのポイント」という事で、「①自分の障がいを理解する」、「②人との出会い」、「③自分を活かせる場所がある」、「④障がいだけでなく、その人を理解する」の項目に沿って福点さん御自身の経験や体験された事のお話をしてくださいました。

その中で、幼少期から視覚支援学校に至る時期のお話が印象に残りました。それまでは自分自身の心の中で、段々と目が見えなくなる事に対する恐怖感を持ちながら生活されていましたが、視覚支援学校に進学した時には、ぼんやりではありますが視力がある事から、手引きをしたり教科書を読み上げたりと、人の役に立つことが出来る自分を見つけたという事でした。福点さんは視覚支援学校に進学して、自分を活かせる場所を見つけたという事です。このお話を伺い、障がいが重くても、社会の中で役に立っていることを自分自身の中で感じるにより、自分の存在価値を見つ